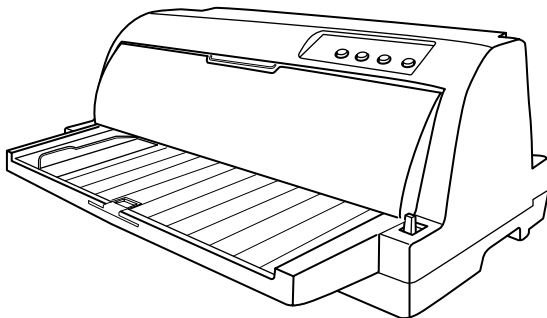
VP-F2000
取扱説明書
セットアップと使い方の概要編

- プリンターを使用可能な状態にするための準備作業と基本操作を説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。

2013 年 9 月発行
Printed in XXXXXX

マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
!注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンター本体が損傷したり、プリンター本体、プリンタードライバーやユーティリティーが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。
参考	補足説明や参考情報を記載しています。
用語 *	用語の説明を記載していることを示しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 8 Operating System 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP/Vista/7/8」のように Windows の表記を省略することがあります。

給紙方法の呼称

本書で説明する給紙方法とプリンタードライバー上の表記は以下のようになります。

給紙方法	プリンタードライバーの表記
単票紙を用紙ガイドから手差し給紙する	手差し
連続紙をプッシュトラクターから給紙する	トラクター

商標

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

ご使用の前に

本製品を安全にお使いいただくための情報と、本製品の部品名称一覧を記載しています。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。

本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

本製品の取扱説明書では、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

記号	内容
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

記号	内容	記号	内容
	してはいけない行為（禁止行為）を示しています。		電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	分解禁止を示しています。		濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	製品が水に濡れることの禁止を示しています。		必ず守っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
	特定の場所に触れることの禁止を示しています。		アース接続して使用することを示しています。

設置に関するご注意

⚠警告	
	本製品の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。 布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。

⚠注意			
	油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。 感電・火災のおそれがあります。		**不安定な場所、ほかの機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。** 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
	本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。		**本製品の組み立て作業（開梱、付属品の取り付けなど）は、梱包箱、梱包材、同梱品を作業場所の外に片付けてから行ってください。** 滑ったり、つまずいたりして、けがをするおそれがあります。

本製品は次のような場所に設置してください。

- 水平で安定した場所
- 風通しの良い場所
- 気温（5 ～ 35 ℃）と湿度（10 ～ 80%）の場所

本製品は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- ホコリや塵の多い場所
- 温度変化や湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房機具に近い場所
- 震動のある場所
- 加湿器に近い場所
- テレビ・ラジオに近い場所

!注意	静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

- 本製品を「プリンター底面より小さい台」の上に設置しないでください。プリンター底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンター本体より広く平らな面の上にプリンターを設置してください。
- 本製品をプリンター台に設置する場合は、本体重量（約 6.8kg）に耐えられるプリンター台に設置してください。
- 用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。
- 本製品の外形寸法は次の通りです（小数点以下四捨五入）。

上面図

側面図

電源に関するご注意

⚠警告	
AC100V以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電のおそれがあります。
破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない	**漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。** アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。 電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。 • 電源コンセントのアース端子 • 銅片などを 65cm 以上地中に埋めた物 • 接地工事（D 種）を行っている接地端子 アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店へご相談ください。
次のような場所にアース線を接続しないでください。 • ガス管（引火や爆発の危険があります） • 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です） • 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）	**電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。	**電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。
付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードをほかの機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。** 感電・火災のおそれがあります。
本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。** コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

⚠注意
長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

取り扱い上のご注意

⚠警告

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災のおそれがあります。

取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。

可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
引火による火災のおそれがあります。

アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。

各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
発火による火災のおそれがあります。また、接続したほかの機器にも損傷を与えるおそれがあります。

⚠注意

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。

使用中または使用直後に、プリンターカバーを開けたときはプリントヘッド部分に触れないでください。
高温になっているため、火傷のおそれがあります。

各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。
火災やけがのおそれがあります。
取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。

本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

リボンカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。

電源投入時および印刷中は、排紙ローラー部に指を近付けないでください。
指が排紙ローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。

インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
- 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。
- 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。

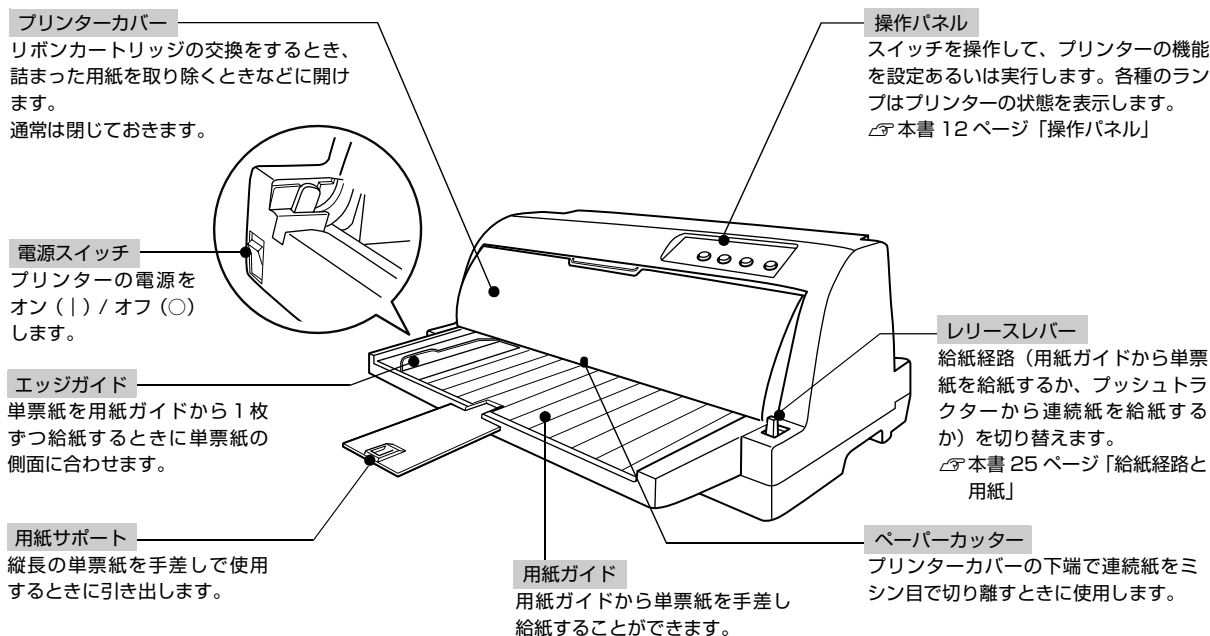
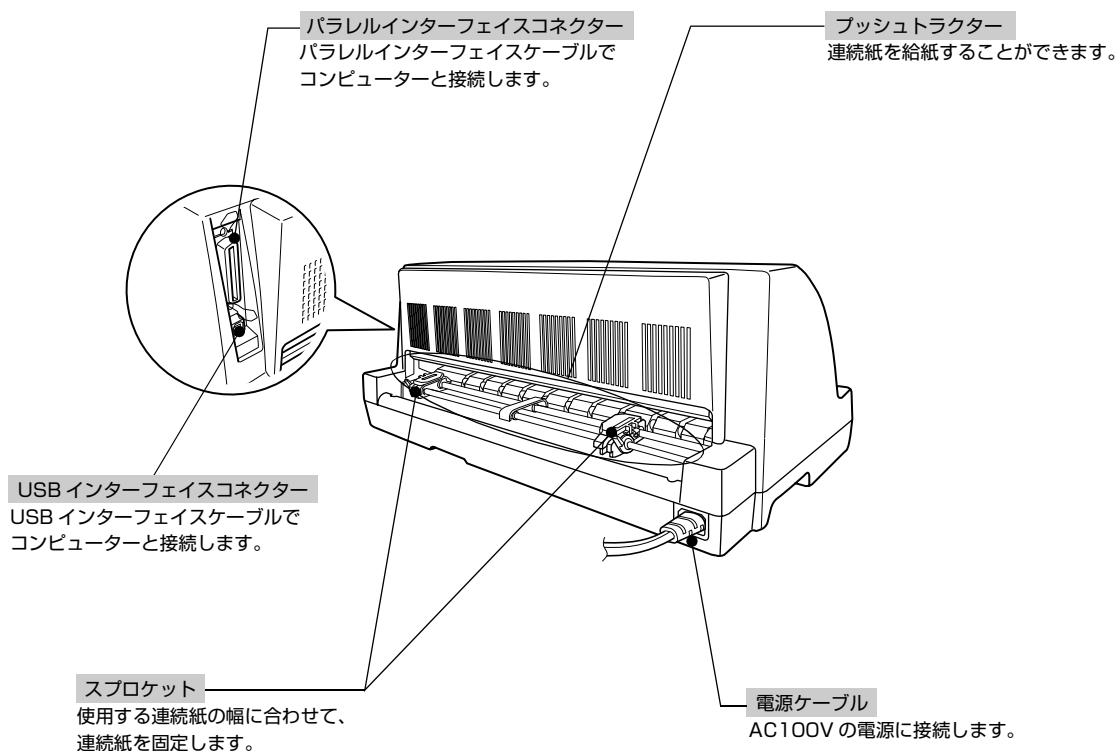
さらに以下の点も注意してください。

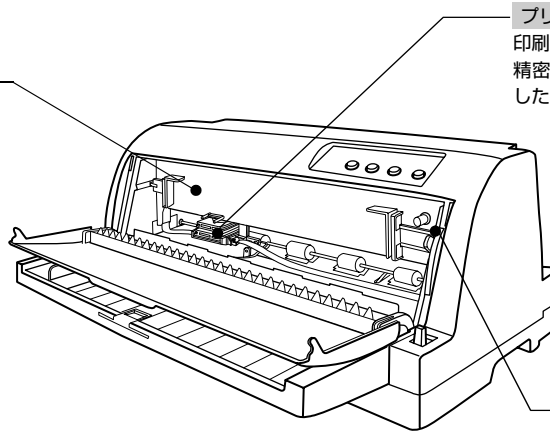
- 用紙やリボンカートリッジが取り付けられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中にプリンターカバーを開けないでください。
- 印刷中に電源を切らないでください。
- リボンがたるんだ状態で印刷しないでください。

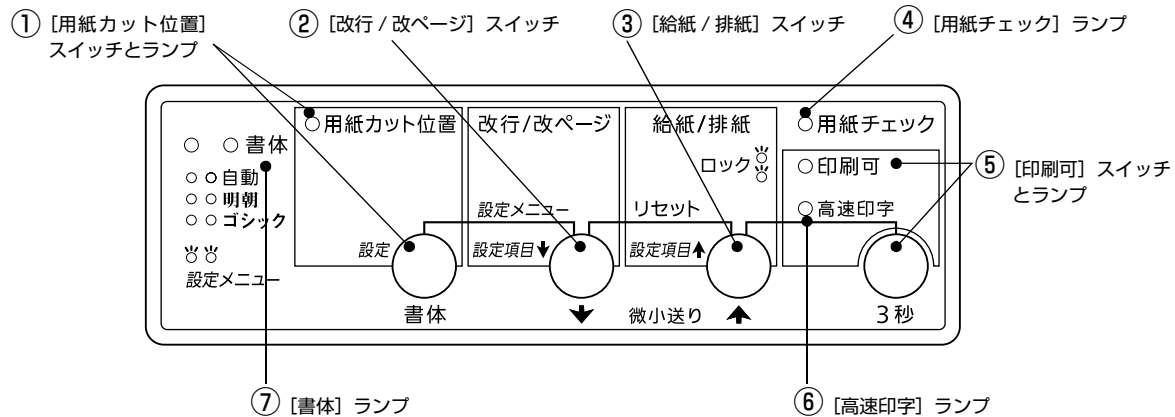
本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

各部の名称と役割

正面

背面

内部

リボンカートリッジ
印字するためのリボンを収めたものです。印字が薄くなったら、リボンカートリッジを交換します。
プリントヘッド
印刷をする部分です。
精密部品ですのでネジを緩めたり分解したりしないでください。
アジャストレバー
用紙の厚さや枚数に合わせて印字面とプリントヘッドの間隔を調整します。
☞本書 27 ページ「アジャストレバーの設定」

操作パネル

操作パネル上のランプでプリンターの状態がわかります。スイッチ操作で各種機能の設定や実行ができます。

ランプの表記　○：点灯　●：消灯　：点滅

①［用紙カット位置］スイッチとランプ（緑）

印刷終了後、［用紙カット位置］スイッチを押すと連続紙が用紙カット位置に紙送りされます。

ランプ	概要
	連続紙が用紙カット位置にあるときにランプが点滅します。
●	用紙カット位置以外の位置にあるときは消灯します。

☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」

②［改行 / 改ページ］スイッチ

用紙の種類	概要
連続紙	スイッチを短く押すと改行します。スイッチを押し続けると改ページします。
単票紙	スイッチを短く押すと改行します。スイッチを押し続けると排紙します。

③［給紙 / 排紙］スイッチ

用紙の種類	概要
連続紙	プッシュトラクターに連続紙をセットした状態でスイッチを押すと、給紙します。印刷位置に給紙されている状態でスイッチを押すと、プッシュトラクター位置へ排紙します。
単票紙	印刷位置に用紙がある状態でスイッチを押すと、排紙します。

用紙ガイドから給紙する場合は［給紙 / 排紙］スイッチを押す必要はありません。用紙をセットして用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込むと用紙は自動給紙されます。

④［用紙チェック］ランプ（オレンジ）

ランプ	概要
○	用紙がない、またはレリースレバーの設定に問題があります。
	用紙が詰まった、または正常に排紙されませんでした。 パネルロックアウトモードがオンのとき、ロックされた操作をすると［印刷可］ランプと共に 3 秒間点滅します。

⑤ [印刷可]スイッチとランプ(緑)

ランプ	設定値 / 状態	スイッチの動作
○	印刷可	印刷可能な状態です。印刷可能状態でスイッチを短く（3 秒未満）押すと、待機に変わります。
●	待機	印刷できない状態です。スイッチを短く（3 秒未満）押すと、印刷可能な状態になります。印刷の途中でスイッチを押すと印刷が中断します。印刷を再開するには、もう一度スイッチを押します。
	微小送りモード / 書体選択モード	「ピッ」というブザーが鳴るまで 3 秒以上押すと、ランプが点滅し、微小送りモード / 書体選択モードになります。 [↑] スイッチを押すと、用紙はプッシュトラクター側へ移動します。 [↓] スイッチを押すと、用紙は用紙ガイド側へ移動します。 ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」 [書体] スイッチを押すと、書体を変更します。 微小送りモード / 書体選択モードを終了させるには、[印刷可] スイッチを短く押します。
	パネルロックアウトモード	パネルロックアウトモードがオンのとき、ロックされた操作をすると [用紙チェック] ランプと共に 3 秒間点滅します。

⑥ [高速印字]ランプ(緑)

[印刷可] スイッチと [給紙 / 排紙] スイッチを同時に押すと、高速印字を指定 / 解除します。

ランプ	概要
○	高速印字が指定されています。文字パターンのドットを間引きして、通常より高速に印字します（DOS 環境下で有効）。
●	高速印字が解除されています。

⑦ [書体]ランプ(緑)

[印刷可] スイッチを「ピッ」というブザーが鳴るまで 3 秒以上押すと、[印刷可] ランプが点滅し、微小送りモード / 書体選択モードになります。

書体選択モードでは [書体] スイッチ（[用紙カット] スイッチ）で書体を選択します。

ランプ		設定値 / 状態	スイッチの動作
○	○	自動	ソフトウェアの書体設定に従って印刷します。ソフトウェアで書体の設定がされていないときは、漢字は明朝体、英数文字はエプソンローマンで印刷します。
○	●	明朝	漢字は明朝体、英数文字はエプソンローマンで印刷します。ただし、ソフトウェアで TrueType フォントなどの設定がされているときは、ソフトウェア上で設定した書体で印刷されることがあります。
●	○	ゴシック	漢字はゴシック体、英数文字はエプソンサンセリフで印刷します。ただし、ソフトウェアで TrueType フォントなどの設定がされているときは、ソフトウェア上で設定した書体で印刷されることがあります。

ランプ表示によるプリンター状態

<table>
<tr><th rowspan="2">パネルランプの状態</th><th rowspan="2">ブザー鳴動
パターン</th><th>問題</th></tr>
<tr><th>対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">●［印刷可］ランプ
○［用紙チェック］ランプ</td><td rowspan="2">•••</td><td>用紙がセットされていません。</td></tr>
<tr><td>用紙をセットします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">●［印刷可］ランプ</td><td rowspan="2">•••</td><td>レリースレバーの設定が間違っています。</td></tr>
<tr><td>レリースレバーを適切な位置に設定します。
本書 25 ページ「給紙経路と用紙」</td></tr>
<tr><td rowspan="4">●［印刷可］ランプ
［用紙チェック］ランプ</td><td rowspan="2">•••</td><td>完全に排紙されていません。</td></tr>
<tr><td>［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">•••</td><td>用紙が詰まっています。</td></tr>
<tr><td>本書 33 ページ「用紙が詰まったときは」を参照して、詰まった用紙を取り除きます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［印刷可］ランプ</td><td rowspan="2">－</td><td>プリントヘッドが許容範囲を超えた高温になっています。</td></tr>
<tr><td>［印刷可］ランプの点滅が点灯に変わるまでお待ちください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［印刷可］ランプ
［用紙チェック］ランプ
［用紙カット位置］ランプ
［高速印字］ランプ
［書体］ランプ</td><td rowspan="2">•••••</td><td>不明なプリンターエラーが発生しました。</td></tr>
<tr><td>プリンターの電源を切って数分放置後、再度プリンターの電源を入れてください。それでもエラーが発生するときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。</td></tr>
</table>

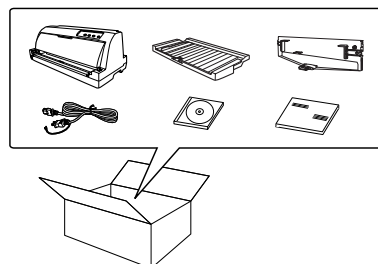
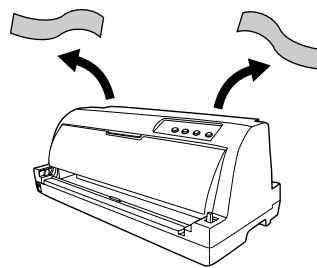
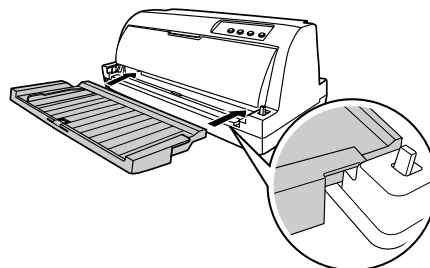
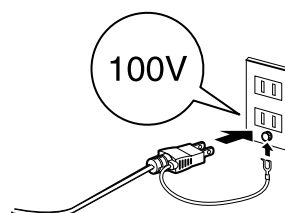
○：点灯　●：消灯　：点滅
••• ＝短い断続音（ピッピッピッ）、••••• ＝長い断続音（ピーピーピーピーピー）

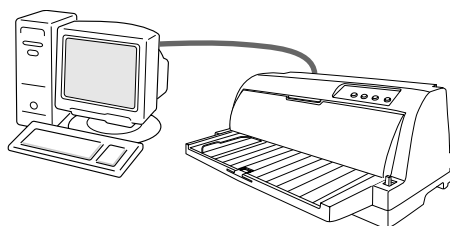
プリンターのセットアップ

プリンターを箱から取り出し、プリンターが使用できるようにセットアップします。

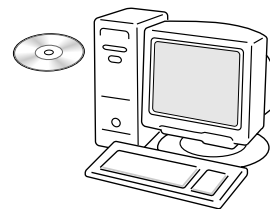
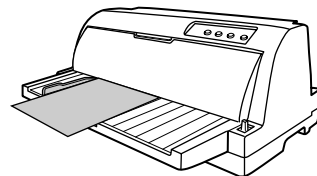
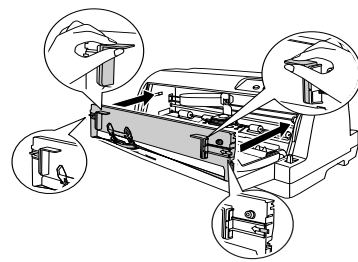
セットアップの流れ

セットアップは以下の手順で行います。

1 同梱物の確認 ☞17 ページ

2 保護材の取り外し ☞17 ページ

3 用紙ガイドの取り付け ☞18 ページ

4 電源接続 ☞18 ページ

5 コンピューターとの接続 ☞18 ページ

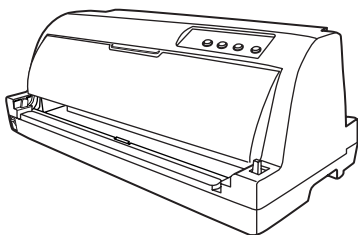
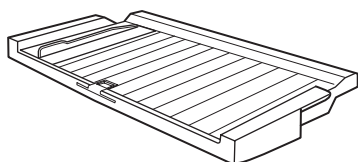
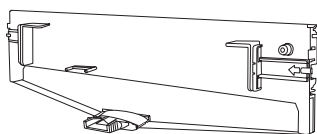
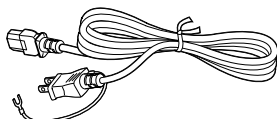
お手持ちのケーブルでプリンターとコンピューターを接続します。

6	**リボンカートリッジの取り付け**	☞19 ページ

7	**動作確認** プリンターが問題なく使用できるかどうかを確認します。	☞21 ページ

8	**プリンタードライバーのインストール** Windows で使用するには、同梱のソフトウェアディスクに収録されているプリンタードライバーやユーティリティーソフトなどをコンピューターにインストールする必要があります。	☞23 ページ

1. 同梱物の確認

次のものがそろっていること、それぞれに損傷のないことを確認してください。

不足品や損傷しているものがございましたら、お買い求めいただいた販売店へご連絡ください。

❑ プリンター本体

❑ 用紙ガイド

❑ リボンカートリッジ

❑ 電源コード

❑ ソフトウェアディスク

- プリンタードライバー
- EPSON ステータスモニタ 3
- VP-F2000 取扱説明書　詳細編（PDF マニュアル）

❑ VP-F2000 取扱説明書
　セットアップと使い方の概要編（本書）

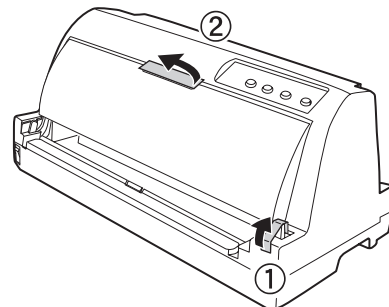
❑ 保証書

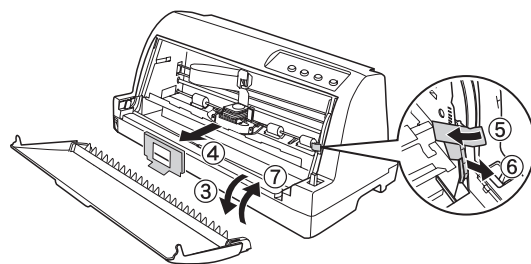
上記同梱品のほかに、各種ご案内が同梱されている場合がありますので、ご了承ください。

2. 保護材の取り外し

プリンター輸送時の衝撃から守るために、保護材がプリンターに取り付けられています。

以下の保護材を取り外してください。

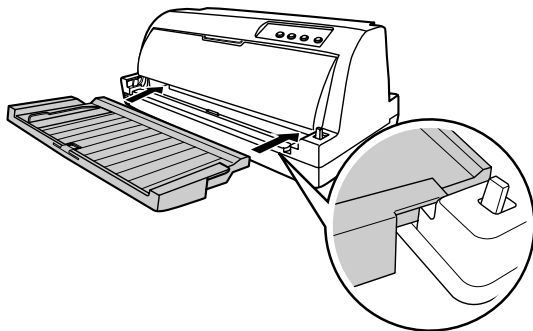
1 **①と②のテープをはがします。**

2 **プリンターカバーを開け（③）、④の保護材、⑤のテープ、⑥の保護材を取り外します。**

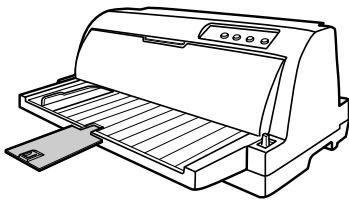
細部をご覧いただくために、プリンターカバーを取り外した状態のイラストを使用していますが、プリンターカバーを取り外す必要はありません。

3 **プリンターカバーを閉じます（⑦）。**

! 注 意

- 梱包箱、梱包材、保護材などは、プリンターの再輸送時に必要です。大切に保管してください。
- 上記以外にも、保護材があった場合は、取り外してください。

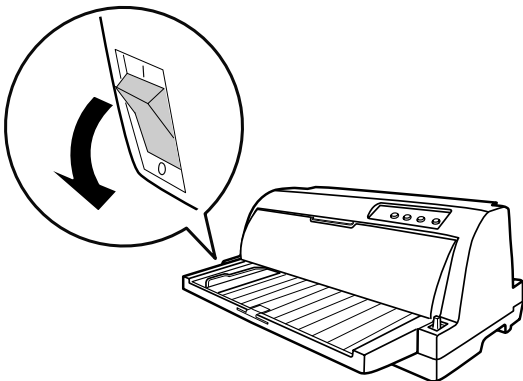
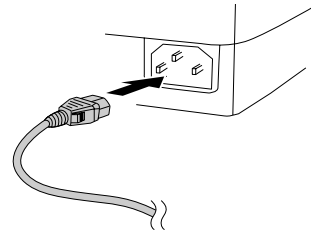
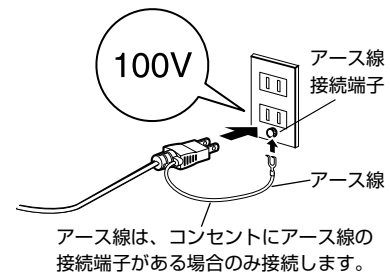
3. 用紙ガイドの取り付け

1 **用紙ガイドをプリンターに取り付けます。**
用紙ガイドを両手で持ち、左右のガイドをプリンターの溝に合わせて取り付けます。

以上で用紙ガイドの取り付けは終了です。

用紙ガイドからはみ出す単票紙を手差し給紙する場合は、用紙サポートを手前に引き出します。

4. 電源接続

電源コードを電源コンセントに接続します。

> ⚠注意
> 「ご使用の前に」をお読みいただき、正しく取り扱ってください。
> ☞ 本書 4 ページ「ご使用の前に」

1 **プリンターの電源が切れていることを確認します。**

2 **プリンター背面の AC インレットに電源コードを差し込みます。**

3 **AC100V のコンセントに電源コードのプラグを正しく差し込みます。**

> **参考**
> **漏電による事故防止について**
> 本製品の電源コードには、アース線(接地線)が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電したときに、電気を逃がし感電事故を防止できます。コンセントにアースの接地端子がない場合は、アース線端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更については、お近くの電気工事店へご相談ください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。

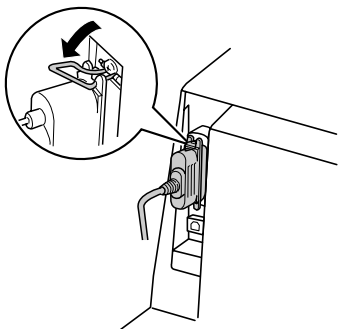
> **! 注 意**
> - 電源プラグをコンピューター背面のコンセントに接続しないでください。
> - 電源の切 / 入は、5 秒程度待ってから行ってください。切 / 入の間隔が短すぎるとプリンターの電源部が故障するおそれがあります。
> - 印刷の途中で電源を切らないでください。

5. コンピューターとの接続

プリンターをコンピューターに接続します。パラレルインターフェイスケーブルまたはUSBインターフェイスケーブルを用意してください。

> **参考**
> お使いのコンピューターや接続環境によって使用するケーブルが異なるため、同梱されていません。別途ご用意ください。以下の純正ケーブルの使用をお勧めします。純正品以外のケーブルを使用すると、正常に印刷できない場合があります。
> - パラレルインターフェイスケーブル：型番 PRCB4N
> - USB インターフェイスケーブル：型番 USBCB2

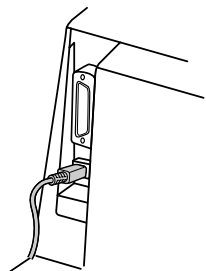
1 **プリンターとコンピューターの電源が切れていることを確認します。**

2 **インターフェイスケーブルをプリンター背面のコネクターに接続します。**

パラレルケーブル:

パラレルケーブルをプリンター側のコネクターにしっかり差し込み、上下のコネクター固定金具を内側に倒して固定します。

ケーブルに FG 線（グランド線）* が付いているときは、コネクターの下にある FG 線取り付けネジを使って接続します。

* FG（グランド）線：プリンターとコンピュータとの間の電位差をなくし、動作を安定させるために接続する線。

USB ケーブル:

USB ケーブルをプリンター側のコネクターにしっかり差し込みます。

3 **もう一方のコネクターをコンピューターのコネクターに差し込みます。**

以上でコンピューターとの接続は終了です。コンピューター側の接続については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

参考

- USB ケーブルの場合は、以下の点をご確認ください。
  - ケーブルのコネクターには、表裏があります。差し込み口の形状に合わせて差し込んでください。
  - USB ケーブルの差し込み口が複数ある場合は、どこに差し込んでも問題ありません。
  - USB ハブを使用する場合は、コンピューターに一番近い USB ハブへ接続してください。
- Windows の標準ネットワーク環境でプリンターを共有する場合は、本製品の標準インターフェイスをご利用いただけます。
  プリンター共有については、PDFマニュアルの以下のページを参照してください。
  ☞『取扱説明書 詳細編』(PDFマニュアル) −「Windows からの印刷」−「プリンターの共有」

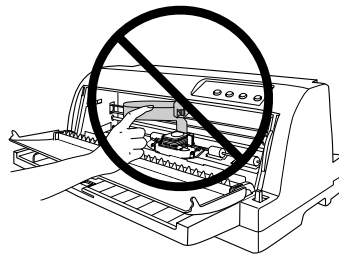
6. リボンカートリッジの取り付け

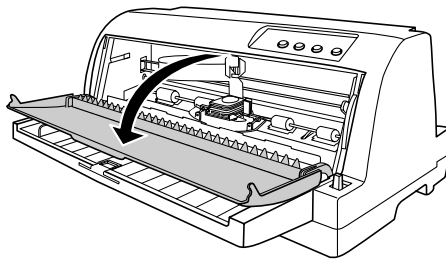
同梱されているリボンカートリッジをプリンターに取り付けます。リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因となりますので、ていねいに扱ってください。

参考

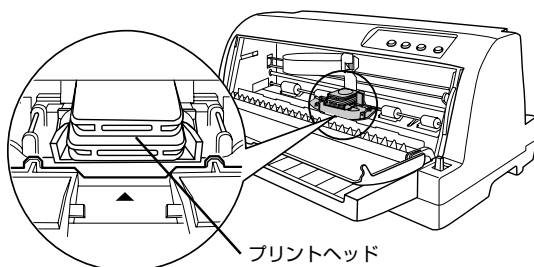
リボンカートリッジの取り付け手順はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp/）でもご案内しています。画面右上の検索欄に「リボンカートリッジ　VP-F2000」と入力すると、対象の FAQ が表示されます。

!注意

- プリンターの電源を入れたまま作業を行うと故障の原因になります。必ず電源を切ってから行ってください。
- リボンカートリッジ取り付け時は、プリンター内部の白いケーブルに触れないでください。

1 **プリンターの電源が切れていることを確認します。**

2 **プリンターカバー上部に指をかけ、ゆっくりと手前に倒してプリンターカバーを開けます。**

3 プリントヘッドが中央のリボンカートリッジ交換位置（▲マークの位置）にあることを確認します。

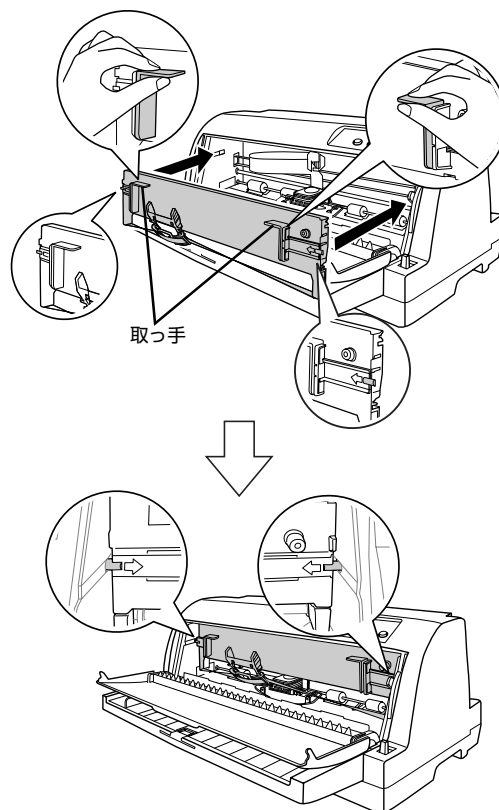
購入時にはプリントヘッドはリボンカートリッジ交換位置にあり、移動する必要はありません。

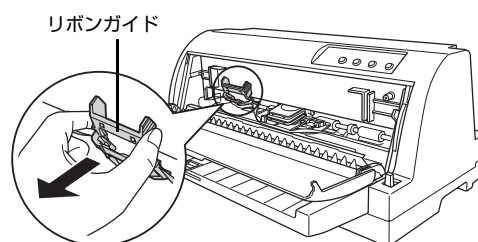
リボンカートリッジを交換する場合に、プリントヘッドが交換位置以外にあるときは、プリントヘッドをリボンカートリッジ交換位置（▲マークの位置）に移動する必要があります。プリンターカバーを閉じてから電源を入れてください。プリントヘッドがリボンカートリッジ交換位置へ移動し停止したことを確認してから、電源を切ります。プリントヘッドの移動には数秒かかります。

> **！注意**
>
> 電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短すぎるとプリンターの電源部が故障するおそれがあります。

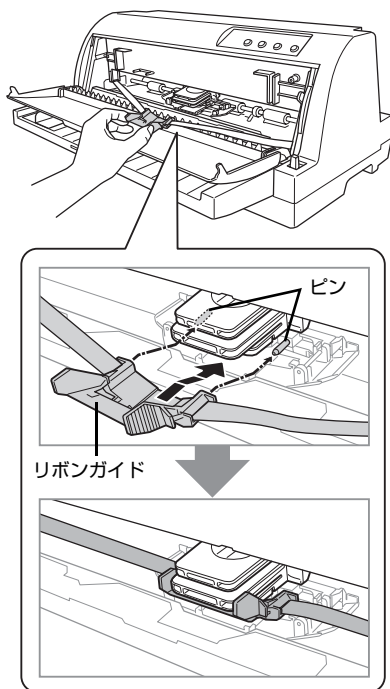
4 リボンカートリッジを袋から取り出します。

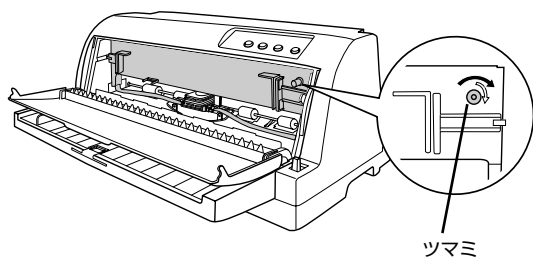
5 リボンカートリッジの左右の取っ手を持ち、プリンターに取り付けます。

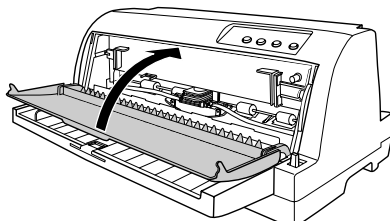
プリンター両側の溝にリボンカートリッジの突起を合わせて、固定されるまで押し込みます。

リボンカートリッジの両端を軽く押して、傾きやがたつきのないことを確認してください。

6 リボンガイドをリボンカートリッジから外します。

リボンガイドの両端を持ち、手前に引いて外します。

7 **リボンガイドをプリントヘッドに取り付けます。**

リボンガイドの両端を持ち、プリントヘッドのガイドのピンに合わせて止まるまで奥に押し込みます。

!注意
リボンガイドを押し込むとき、リボンがねじれないように注意してください。

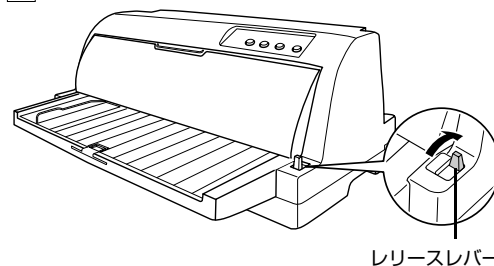
8 **リボンカートリッジのツマミを矢印方向に回して、リボンのたるみを取ります。**

リボンのたるみを取り、リボンが自由に動くこと、リボンにねじれや折れがないことを確認してください。

9 **プリンターカバーを閉じます。**

続いてプリンターの動作確認を行います。

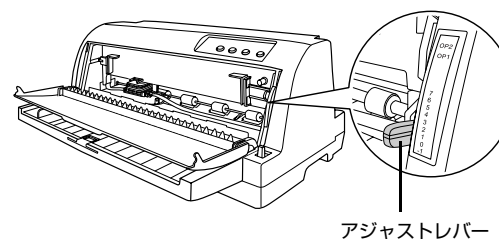
7. 動作確認

プリンターが正常に動作するかどうかをプリンター内蔵の印字パターンを印刷して確認します。A4 サイズの単票紙を用意してください。

参考
動作の確認は連続紙（用紙幅 228.6mm（9.0 インチ）以上）でもできます。連続紙のセットの仕方については、以下のページを参照してください。
本書 28 ページ「連続紙の給紙と排紙」

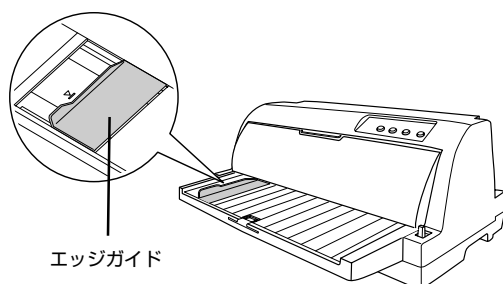
1 **レリースレバーを奥側に倒して、単票紙給紙（ ）に切り替えます。**

⚠注意
プリンターを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

2 **プリンターカバーを開け、アジャストレバーを「0」に設定し、プリンターカバーを閉じます。**

1 枚の単票紙に印字する場合は「0」に設定してください。それ以外の用紙に印字する場合は、以下のページを参照してください。
本書 27 ページ「アジャストレバーの設定」

アジャストレバーを設定したら、プリンターカバーを閉じます。

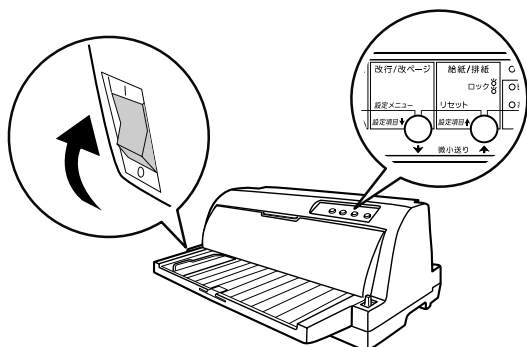
3 **エッジガイドの位置を調整します。**

エッジガイドを用紙ガイドのマーク（▷|）に合わせます。

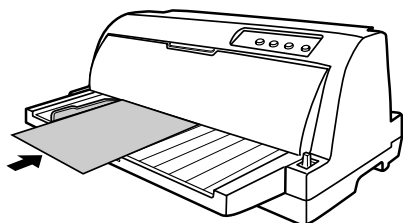
ここではまだ用紙をセットしません。

4 **[改行 / 改ページ] または [給紙 / 排紙] どちらかのスイッチを押したまま電源を入れます。**

- ［改行 / 改ページ］スイッチ：
  英数カナ文字モード印字をします
- ［給紙 / 排紙］スイッチ：
  漢字モード印字をします

［電源］ランプが点灯したら、［改行 / 改ページ］または［給紙 / 排紙］スイッチを離してください。

［用紙チェック］ランプが点灯します。

5 **単票紙を手差し給紙して、動作確認を実行します。**

エッジガイドに沿って、A4 縦の単票紙を差し込みます。

単票紙の先端が突き当たるまで差し込むと、自動的に給紙して動作確認を実行します。

印刷結果の例は次のようになります（一部抜粋してあります）。

- 漢字モード

```
…  ‥  ‘  ’  “  ”  （  ）
∞  ∴  ♂  ♀  °  ′  ″  ℃
↑  ↓  〓  ∈  ∋  ⊆  ⊇  ⊂
♯  ♭  ♪  †  ‡  ¶  ◯  0
S  T  U  V  W  X  Y  Z
```

- 英数カナ文字モード

```
 !"#$%&'()*+,-./0123456
!"#$%&'()*+,-./01234567
"#$%&'()*+,-./012345678
#$%&'()*+,-./0123456789
$%&'()*+,-./0123456789:
%&'()*+,-./0123456789:;
```

参考

- 印刷中に［印刷可］スイッチを押すと印刷は停止します。再度押すと印刷を再開します。
- １枚目の印刷が終了し、続いて２枚目の用紙に印刷する場合は、次の用紙をセットすると自動的に印刷します。

6 **動作確認を終了します。**

［印刷可］スイッチが押されるまで印刷は繰り返して行われます。［印刷可］スイッチを押して印刷を中止し、電源を切ります。プリンターに用紙が残っているときは、［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を排紙してから電源を切ってください。

! 注意

電源の切/入は、5 秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短すぎるとプリンターの電源部が故障するおそれがあります。

7 **印刷結果を確認します。**

5 の印刷結果のように印刷されていればプリンターは正常に動作しています。

手順通りに実行しても印刷できない、プリンターが動作しない、などのトラブルが発生したときは「取扱説明書　詳細編」（PDF マニュアル）を参照して解決してください。

本書 39 ページ「PDF マニュアルの紹介と使い方」

Windows 環境でお使いの場合は、続いてプリンタードライバーなどをインストールします。

8. プリンタードライバーのインストール

Windows プリンタードライバーやプリンター監視ユーティリティー（EPSON ステータスモニタ 3）などをインストールします。

動作条件

対象 OS	Windows 2000/XP/Vista/7/8
EPSON ステータスモニタ 3 で監視可能な接続状態	• パラレル接続またはUSB接続でのローカルプリンター • Windows 共有プリンター

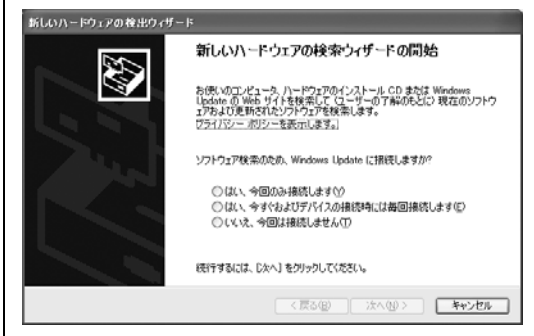
参考

- EPSON ステータスモニタ 3 は、プリンターの状態を監視して、エラーメッセージなどを画面に表示するユーティリティーです。プリンタードライバーのインストール後、続けてインストールすることができます。
  EPSON ステータスモニタ 3 で監視できるプリンターの接続形態は以下です。
  - パラレル接続またはUSB接続でのローカルプリンター
  - Windows 共有プリンター

  双方向通信をサポートしていないコンピューターでは使用できません。
- Windows プリンタードライバーを使用しない特殊なアプリケーションソフトをお使いの場合に、プリンタードライバーや EPSON ステータスモニタ 3 をインストールすると正常に印刷されなくなることがあります。このような環境ではプリンタードライバーや EPSON ステータスモニタ 3 をインストールしないようにしてください。

1 **プリンターの電源を切ります。**
指示があるまでプリンターの電源を入れないでください。

2 **Windows を起動します。**
管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログインしてください。

参考
以下のような画面が表示されたときは［キャンセル］をクリックしてください。

3 **本製品に同梱されているソフトウェアディスクをコンピューターにセットします。**

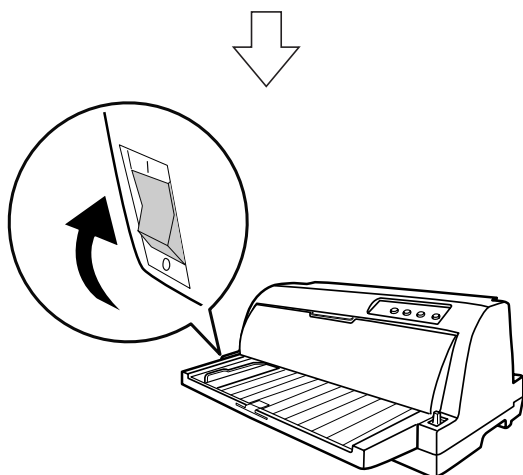
4 **［簡単インストール］をクリックします。**

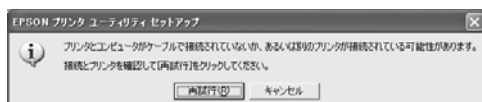
参考
上記の画面が表示されないときは、［マイコンピューター］-［CD-ROM］-［Epsetup.exe］をダブルクリックしてください。

5 **以下の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］を選択し、［次へ］をクリックします。**
［同意しない］を選択した場合は、［キャンセル］をクリックしてインストールを終了させます。

6 **インストールするソフトウェアを確認し、［インストール］をクリックします。**
ソフトウェアのインストールが始まります。

7 **しばらくすると、以下の画面が表示されます。プリンターの電源を入れてください。**

プリンターの接続先を設定します。

参考

7 の画面表示後、約３分経過してもプリンターの接続が確認できない、あるいは印刷先のポートが認識できないと、以下のような画面が表示されます。

プリンターの電源が入っているか、推奨ケーブルが正しく接続されているかを確認して、[再試行] をクリックし、[手動設定］から接続しているポートを選択してください。

8 **以下のような画面が表示されたら［終了］をクリックします。**

9 **［終了］をクリックします。**

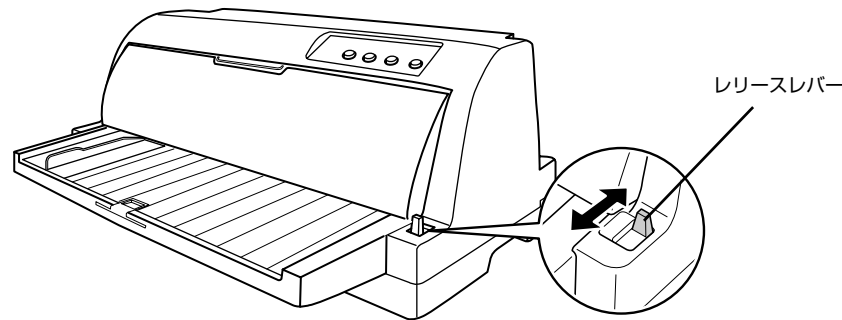
ご利用の環境によって表示される画面が異なります。再起動を促すメッセージが表示されたら、Windows を再起動してください。

以上で終了です。

給紙と排紙

本製品の給紙経路、使用できる用紙とセット方法などを説明します。

給紙経路と用紙

プリンター右側のレリースレバーを切り替えることにより、給紙経路を切り替えることができます。

用紙種類		給紙経路	レリース レバー	給紙方法
連続紙	• 上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙、裏カーボン紙） • 複写紙は最大7枚（オリジナル＋６枚）まで可 • 連続ラベル紙の台紙への印刷は不可	排紙 給紙		プリンター背面のプッシュトラクターから給紙します。
単票紙	• 上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙、裏カーボン紙） • 複写紙は最大7枚（オリジナル＋６枚）まで可 • 単票ラベル紙の台紙への印刷は不可	排紙 給紙		用紙ガイドから手差し給紙します。

連続紙をセットしたままの状態で単票紙の給紙に切り替えることができます。
給紙経路を切り替える場合は、連続紙をプッシュトラクター位置まで戻してからレリースレバーを切り替えてください。
☞ 本書 32 ページ 「連続紙から単票紙への切り替え」

印刷できる用紙

本製品で印刷できる用紙は下表の通りです。用紙仕様の詳細や注意事項、使用できない用紙の情報は『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）に掲載されています。
☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」

給紙ミスや紙詰まりを防止するために以下のページを参照してください。
☞ 本書 35 ページ 「用紙詰まりの予防」

• **連続紙（連続複写紙）**

項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙 裏カーボン紙 （オリジナル＋6枚まで）
用紙幅	101.6 ～ 304.8mm（4 ～ 12 インチ）	
ページ長	76.2 ～ 558.8mm （3 ～ 22 インチ）	
用紙厚	0.065～0.15mm	0.12 ～ 0.49mm
用紙連量	45 ～ 110kg （坪量 52 ～ 128g/m^2）	34 ～ 50kg （坪量 40 ～ 58g/m^2） （1 枚当たり）

※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

• **連続ラベル紙**

項目	詳細
品質	上質紙
台紙幅	101.6 ～ 304.8mm（4 ～ 12 インチ）
台紙ページ長	101.6 ～ 558.8mm（4 ～ 22 インチ）
用紙厚 （台紙含む）	0.16～0.19mm(台紙0.07～0.09mm)
用紙連量	55kg（坪量 64g/m^2）

※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

• **単票紙（単票複写紙）**

項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙 *、普通紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙 裏カーボン紙 （オリジナル＋６枚まで）
用紙幅	90 ～ 304.8mm（3.5 ～ 12.0 インチ）	
用紙長	70 ～ 420mm（2.8 ～ 16.5 インチ） （1 枚紙および天のり綴じの場合）	
	70 ～ 297mm（2.8 ～ 11.7 インチ） （横のり綴じの場合）	
用紙厚	0.065 ～ 0.19mm	0.12 ～ 0.49mm
用紙連量	45 ～ 135kg （坪量 52 ～ 157g/m^2）	34 ～ 50kg （坪量 40 ～ 58g/m^2） （1 枚当たり）

*：本書では、上質紙、普通紙、PPC 用紙を総称として、上質紙と表記します。
※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

使用できる定形紙とセット方向は下表の通りです。

用紙サイズ	1 枚紙	複写紙
A3（297 × 420mm）	縦長	縦長 *
A4（210 × 297mm）	縦長、横長	縦長、横長
A5（148 × 210mm）	縦長、横長	縦長、横長
A6（105 × 148mm）	縦長、横長	縦長、横長
B4（257 × 364mm）	縦長	縦長 *
B5（182 × 257mm）	縦長、横長	縦長、横長

*： 天のり綴じのみ使用可。

• **単票ラベル紙**

項目	詳細
品質	上質紙
台紙幅	100 ～ 210mm（3.9 ～ 8.3 インチ）
台紙用紙長	100 ～ 297mm（3.9 ～ 11.7 インチ）
用紙厚 （台紙含む）	0.16～0.19mm(台紙0.07～0.09mm)
用紙連量	55kg（坪量 64g/m^2）

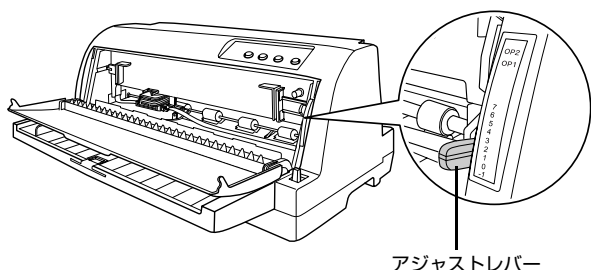
※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

- **ハガキ**

項目	詳細	
品質	郵便ハガキ （通常ハガキ）	郵便往復ハガキ
用紙幅	100mm	148mm
用紙長	148mm	200mm
用紙厚	0.22mm	
セット方法	縦長、横長	縦長、横長

アジャストレバーの設定

給紙する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。

アジャストレバーの操作は、プリンターカバーを開けてから行ってください。

用紙の種類・枚数		アジャストレバーの設定値 *1								
		-1	0	1	2	3	4	5	6	7
1 枚紙	連続紙	○	○ *2							
	単票紙	○	○	○ *3						
複写紙	2 枚紙		○	○						
	3 枚紙			○	○					
	4 枚紙				○	○				
	5 枚紙					○	○	○		
	6 枚紙								○	
	7 枚紙									○
ラベル					○ *4					
ハガキ					○					
紙厚		0.06 ～ 0.10mm	0.06 ～ 0.12mm	0.12 ～ 0.19mm	0.19 ～ 0.26mm	0.26 ～ 0.32mm	0.32 ～ 0.36mm	0.36 ～ 0.40mm	0.40 ～ 0.44mm	0.44 ～ 0.49mm

*1 : 設定値 OP1、OP2 は通常は使用しません。
*2 : 連続紙の 1 枚紙の紙厚は 0.065 ～ 0.10mm です。
*3 : 単票紙の 1 枚紙の紙厚は 0.065 ～ 0.14mm です。
*4 : ラベル紙は紙厚0.16～0.19mmのものが使用可能ですが、ラベルのはがれ等を防止するために、設定値「2」でお使いください。

!注意

- 厚紙や特殊紙に印刷する場合は、印刷領域に注意してください。ソフトウェアで印刷領域を設定する際、必ず印字推奨領域内で印刷するように設定してください。アジャストレバーの設定値が大きいときに印字推奨領域外で印刷すると、プリントヘッドを損傷するおそれがあります。
- 表の値は目安です。用紙の厚さに対してアジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、インクリボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。大量に印刷する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

連続紙の給紙と排紙

本製品は、プッシュトラクター（プリンター背面）から連続紙を給紙することができます。

本書 25 ページ 「給紙経路と用紙」

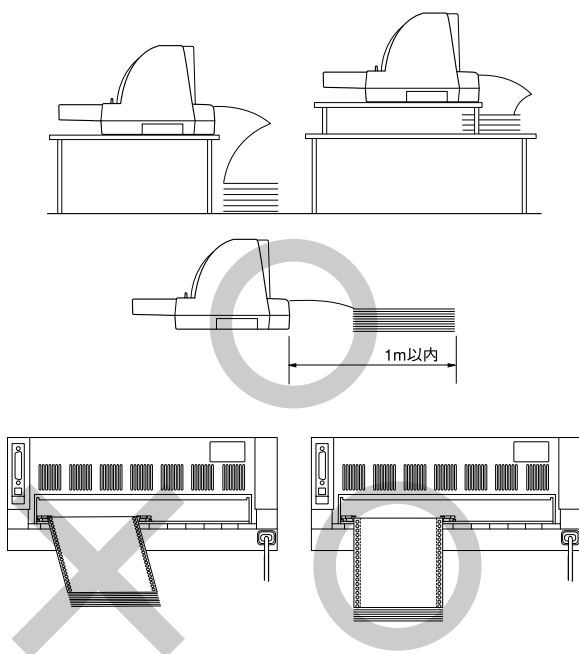
！注 意

印刷開始位置がずれたりプリンター内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

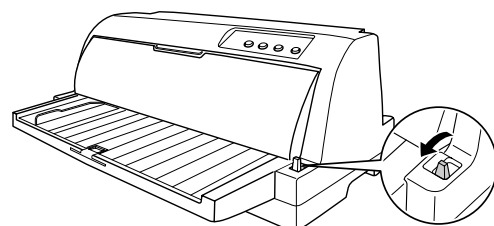
- プリンターの電源を入れたまま、連続紙がプリンター内に給紙された状態で、トラクターから用紙を外して引き抜く。
- プリンターの電源を入れたまま、[給紙 / 排紙] スイッチを押し、用紙が完全に排紙されない状態で、用紙を引き抜く。

給紙

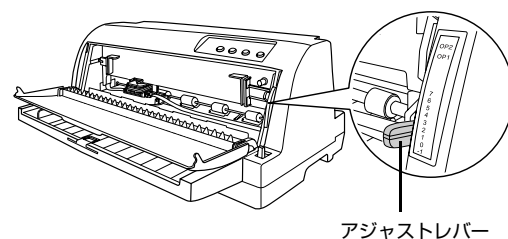
プリンター背面から連続紙を給紙します。

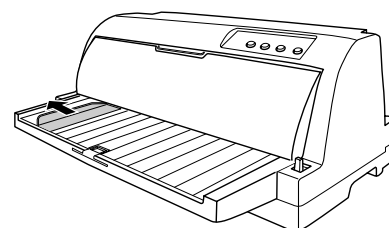
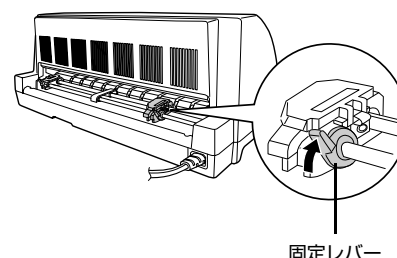
連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンターをお使いください。

！注 意

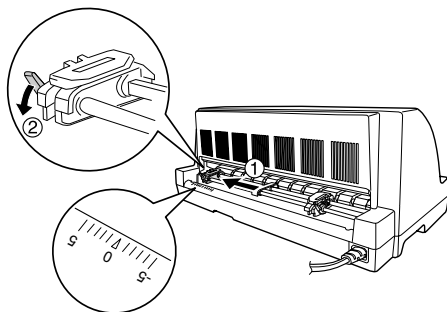
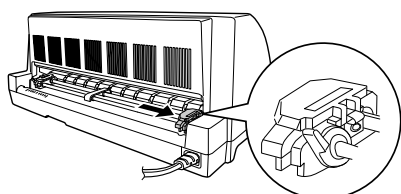
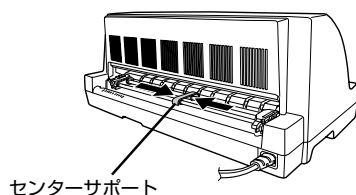
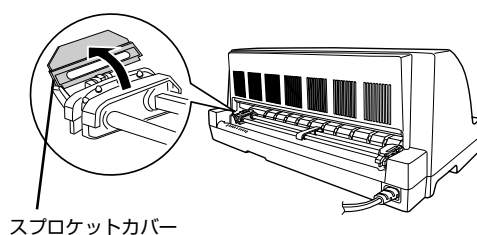
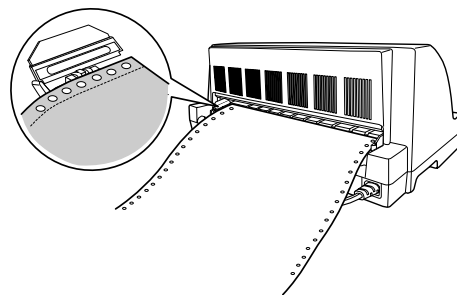
プリンターケーブルやプリンター台の角、用紙の箱に連続紙が接触していると紙送りの負荷となり、印刷位置がずれる場合があります。スムーズに給紙できるように連続紙を配置してください。また、連続紙は必ず箱から取り出して置いてください。

1. **レリースレバーを連続紙側（ ）に倒します。**

2. **プリンターカバーを開けて、アジャストレバーを設定します。**

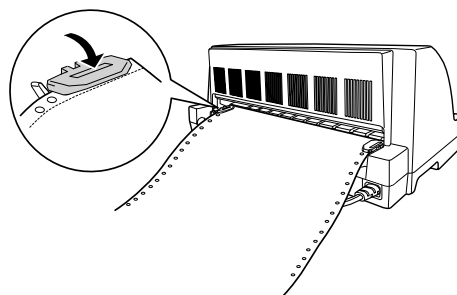
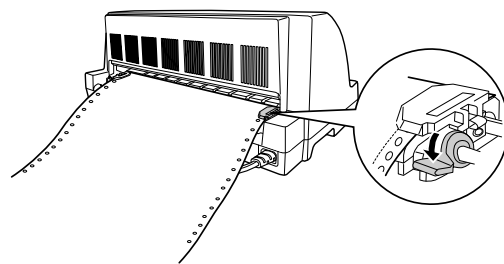
本書 27 ページ 「アジャストレバーの設定」

⚠注意

印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。プリントヘッドの温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

3. **エッジガイドを左端に移動します。**

4. **スプロケット（左右）の固定レバーを上げてロックを解除します。**

5 左側のスプロケットの位置を調整し、固定します。

プリンター背面の矢印（△）の位置が 1 桁目の印刷開始位置となります。用紙に合わせてスプロケットの位置を調整し、固定レバーを下げてロックします。

6 右側のスプロケットを用紙のサイズより広い位置に移動します。

7 センターサポートが用紙サイズ幅の中央になるように調整します。

8 スプロケットカバーを開けます。

9 スプロケットに連続紙をセットします。

参考

連続紙がたるんだり、きつく張りすぎたりしないように、右側のスプロケットの位置を調整してください。連続紙のスプロケットの穴が変形しない程度の位置が理想です。

10 スプロケットカバー（左右）を閉じます。

11 右側のスプロケットの固定レバーを下げてロックします。

12 ［印刷可］ランプが点灯していることを確認して、印刷を実行します。

印刷データを受信すると連続紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

！注意

- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源を切ってから用紙を取り除き、連続紙をセットし直して給紙してください。
- プリンターの電源を入れたまま、連続紙がプリンター内に給紙された状態でトラクターから用紙を外して引き抜いたりしないでください。印刷開始位置がずれたり、プリンター内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となります。

参考

- 印刷する前に以下を設定してください。
  - プリンタードライバー経由で印刷する場合は、連続紙の用紙サイズを設定してください。
    ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「Windows からの印刷」－「プリンタードライバーの設定」
  - DOS 環境で印刷する場合は、連続紙のページ長とミシン目スキップを設定してください。
    ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「プリンター設定値の変更」－「操作パネルからの設定」
- DOS 環境で印刷している場合は、給紙位置を「微小送り機能」で微調整できます。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」
- ティアオフ機能を使用すると、印刷終了後に連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「連続紙の切り離し（ティアオフ）」
- 連続ラベル紙のセット方法は、連続紙と同じです。
  ☞ 本書 28 ページ 「連続紙の給紙と排紙」

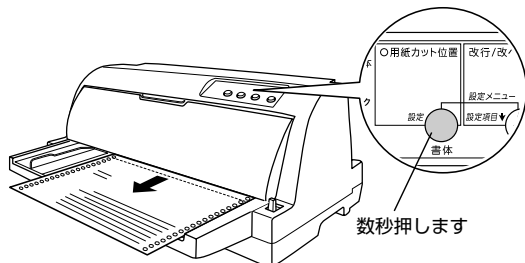
連続紙の排紙

プリンター前面から連続紙を排紙します。

ラベル紙を除く連続紙は以下の手順で排紙してください。

参考

- 下記の手順は手動ティアオフ機能を使用した場合です。自動ティアオフ機能が有効になっていると、印刷終了後、自動的にミシン目カット位置まで連続紙を送り出します。
  ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「連続紙の切り離し（ティアオフ）」
- 用紙が詰まった場合は、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 33 ページ 「用紙が詰まったときは」

1 ［用紙カット位置］スイッチを押して連続紙をミシン目カット位置まで送り出します。

2 ミシン目の位置で連続紙を切り離します。

次の印刷を行うと、連続紙が印刷開始位置まで自動的に戻って印刷が始まります。

参考

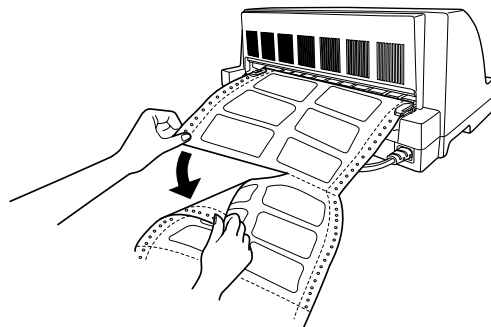
- ［用紙カット位置］スイッチを押して連続紙を戻すこともできます。
- 電源を切るときは、［給紙 / 排紙］スイッチを押して連続紙をプッシュトラクター位置まで戻してください。給紙した状態で電源を切ると、次の印刷時に印字開始位置がずれることがあります。

ラベル紙の排紙

印刷の終了したラベル紙を切り離すときは、必ず［改行 / 改ページ］スイッチを使用して、プリンター前面から排紙してください。ティアオフ機能（［用紙カット位置］スイッチ、［給紙 / 排紙］スイッチ）は使用しないでください。

!注意

ラベル紙を、［用紙カット位置］スイッチ、［給紙 / 排紙］スイッチを使用するなどしてプリンター背面より引き抜くと、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙はトラクターユニット位置で用紙を切り離してから、［改行 / 改ページ］スイッチを押してプリンター前面から排紙してください。

1 印刷が終了したら、印刷に使用しないラベル紙をプリンター後方で切り離します。

2 ［改行 / 改ページ］スイッチを押して、連続ラベル紙を前方へ排紙します。

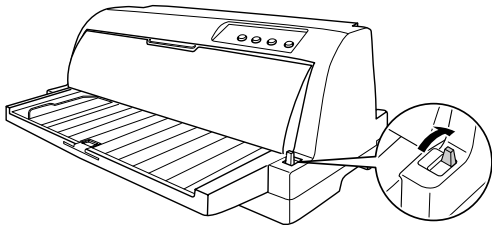
単票紙の給紙と排紙

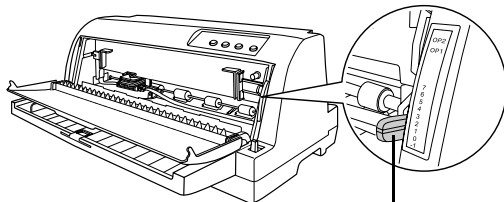
単票紙は用紙ガイドから 1 枚ずつ給紙することができます。

用紙の表面がなめらかで良質のものを使用してください。

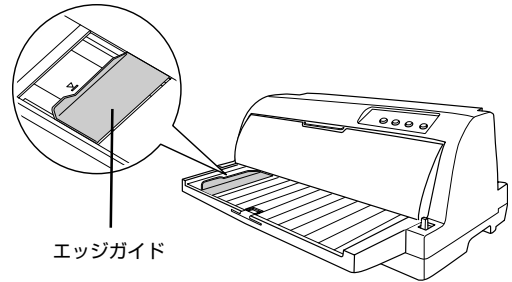
> **!注意**
> 印刷開始位置がずれたりプリンター内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、プリンターの電源を入れたまま、用紙を引き抜かないでください。

給紙

1 **レリースレバーを単票紙側（ ）に倒します。**

2 **プリンターカバーを開けて、アジャストレバーを設定します。**

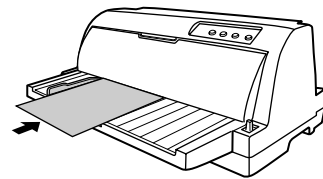
☞ 本書 27 ページ 「アジャストレバーの設定」

アジャストレバー

> **⚠注意**
> 印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。プリントヘッドの温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

3 **エッジガイドを用紙ガイドのマーク（⊳|）に合わせます。**

エッジガイド

> **参考**
> エッジガイドの位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンが異なっている場合は、エッジガイドの位置を再調整してください。

4 **［印刷可］ランプが点灯していることを確認して、エッジガイドに沿って、用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。**

用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

> **参考**
> - DOS 環境でご使用の場合、給紙位置は微小送り機能を使用して微調整できます。
>   ☞『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「用紙位置の微調整（微小送り）」
> - プリンタードライバー経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。

5 **印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。**

プリンター内に用紙が残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

> **参考**
> - 単票ラベル紙やハガキのセット方法は、単票紙と同じです。
>   ☞ 本書 31 ページ 「単票紙の給紙と排紙」
> - 用紙が詰まった場合は、以下のページを参照してください。
>   ☞ 本書 33 ページ 「用紙が詰まったときは」

連続紙と単票紙の切り替え

プッシュトラクターに連続紙をセットしたまま、連続紙の給紙と単票紙の給紙を切り替えて単票紙に印刷することができます。

連続紙から単票紙への切り替え

参考

連続紙の先端がプッシュトラクターの位置にある場合は、4へ進んでください。

1 **連続紙の印刷が終了したら、［用紙カット位置］スイッチを押して連続紙をミシン目カット位置まで送り出します。**

連続紙がミシン目カット位置まで紙送りされます。ティアオフ機能を自動に設定している場合は［用紙カット位置］スイッチを押す必要はありません。

2 **連続紙を切り離します。**

!注意

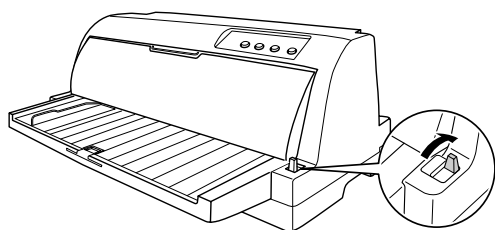
- 印刷が終わった連続紙は、ミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。
- ラベル紙を使用するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。プッシュトラクターの位置で給紙前のラベル紙を切り離し、プリンター内に残ったラベル紙は［改行 / 改ページ］スイッチを押してプリンター前面から排紙します。再びラベル紙を使用するときは、トラクターにセットし直してください。

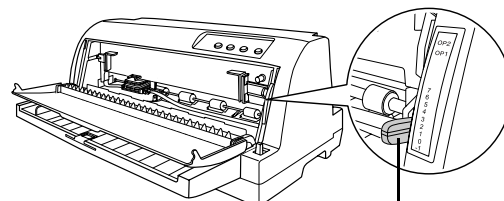
3 **［給紙 / 排紙］スイッチを押します。**

セットした連続紙はプッシュトラクターの位置まで戻りますが、プッシュトラクターからは外れません。

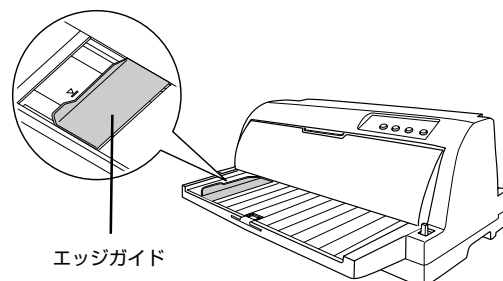
!注意

ラベル紙使用時は連続紙と単票紙の切り替えはできません。

4 **レリースレバーを単票紙側（ ）に倒します。**

5 **連続紙と単票紙で厚さが異なるときは、アジャストレバーを設定し直します。**

本書 27 ページ「アジャストレバーの設定」

6 **エッジガイドを用紙ガイドのマーク（▷|）に合わせて単票紙をセットします。**

エッジガイドを用紙幅に合わせてから、単票紙を奥まで差し込みます。用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

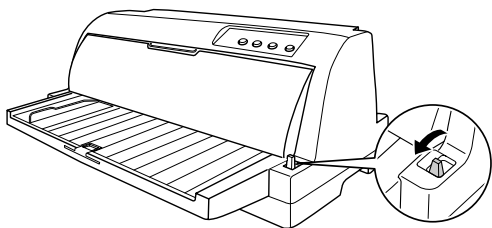
本書 31 ページ「単票紙の給紙と排紙」

7 **印刷を実行します。**

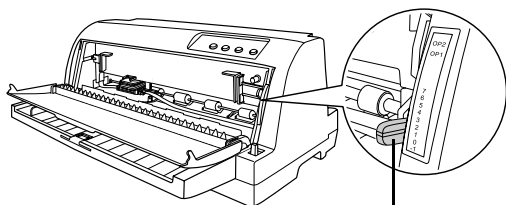
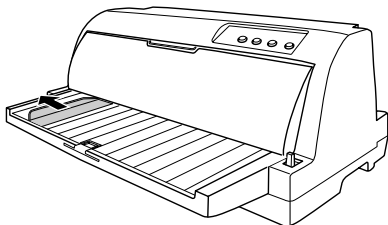
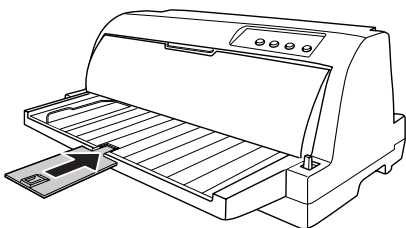
印刷データを受信すると、セットされた単票紙を給紙して印刷を開始します。

単票紙から連続紙への切り替え

1 **単票紙の印刷が終了したら、単票紙を取り除きます。**

印刷途中の用紙がプリンター内に残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

2 **レリースレバーを連続紙側（ ）に倒します。**

3 **連続紙と単票紙で厚さが異なるときは、アジャストレバーを設定し直します。**

本書 27 ページ 「アジャストレバーの設定」

4 **エッジガイドを左端に移動します。**

5 **用紙サポートが引き出されている場合は、元の位置に戻します。**

6 **印刷を実行します。**

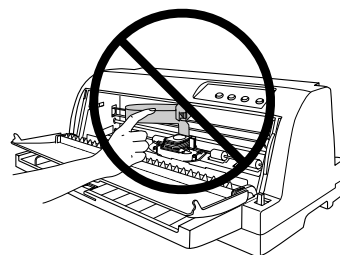
印刷データを受信すると、セットされた連続紙を給紙して印刷を開始します。

> **！注意**
> 印刷データを送る前にプッシュトラクターに用紙がセットされていることを確認してください。

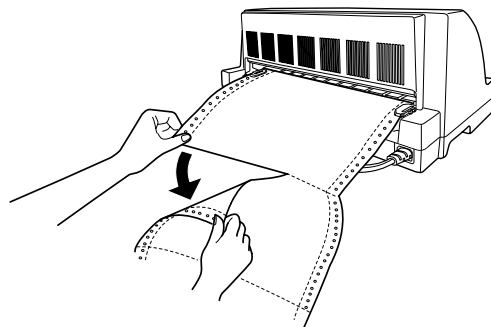
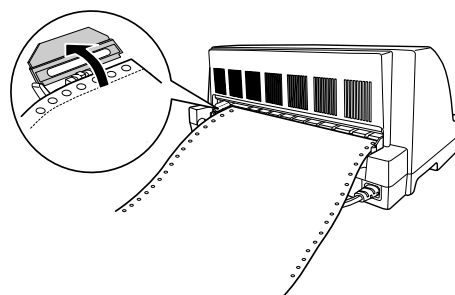
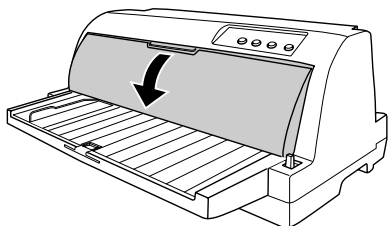
用紙が詰まったときは

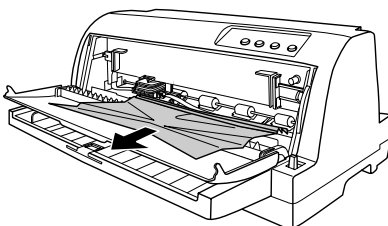
プリンター内部で用紙が詰まった場合は、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

> **⚠注意**
> 印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。プリントヘッドの温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

> **！注意**
> 用紙を取り除くときに、プリンター内部の白いケーブルに触れないようにしてください。

連続紙が詰まったときは

1 **プリンターの電源を切ります。**

2 **印字が完了している連続紙と給紙前の連続紙をミシン目で切り離します。**

3 **スプロケットカバーを開けます。**

4 プリンターカバー上部に指をかけ、ゆっくりと手前に倒してプリンターカバーを開けます。

5 詰まっている用紙を取り除きます。

プリンター内部に用紙が残っていないか確認してください。ラベル紙を使用している場合は、ラベルが残っていないか確認してください。

> **!注意**
> ラベル紙を使用している場合は、ラベルが台紙からはがれないように注意してください。

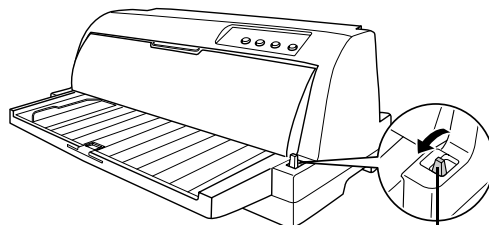
6 レリースレバーとプリンターカバーを元に戻します。

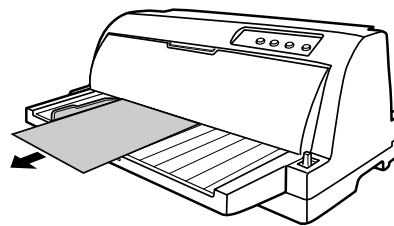
7 用紙をセットし直して、プリンターの電源を入れます。

本書 28 ページ「連続紙の給紙と排紙」

単票紙が詰まったときは

1 プリンターの電源を切ります。

2 レリースレバーを単票紙側から連続紙側（ ）に変更します。

3 詰まっている用紙を引き抜きます。

プリンターカバーを開けて、プリンター内部に用紙が残っていないか確認してください。ラベル紙を使用している場合は、ラベルが残っていないか確認してください。

> **!注意**
> ラベル紙を使用している場合は、ラベルが台紙からはがれないように注意してください。

4 レリースレバーとプリンターカバーを元に戻します。

5 プリンターの電源を入れて、用紙をセットし直します。

本書 31 ページ「単票紙の給紙と排紙」

プリンター内部に用紙が残ったときは

1 **プリンターの電源を切り、プリンターカバーを開けます。**

2 **リボンカートリッジを取り外します。**

☞ 本書 36 ページ 「リボンカートリッジの交換」

3 **プリンターの電源を入れます。**

4 **［印刷可］スイッチを 3 秒以上押して微小送りモードにします。**

ブザーが鳴ったらスイッチから指を離します。［印刷可］ランプが点滅します。

> **参考**
>
> ［印刷可］ランプが消灯または点灯しているときは微小送りできません。再度［印刷可］スイッチを 3 秒以上押して、ランプが点滅している状態にしてください。

5 **［微小送り］スイッチを押し、残った用紙を取り除きます。**

［微小送り ↑］スイッチを押すと、用紙はプッシュトラクター側に送られます。

［微小送り ↓］スイッチを押すと、用紙は用紙ガイド側に送られます。

6 **プリンターの電源を切ります。**

7 **リボンカートリッジを取り付け、プリンターカバーを閉じます。**

☞ 本書 19ページ「6.リボンカートリッジの取り付け」

用紙詰まりの予防

用紙詰まりを発生させないように、以下の点に注意してください。

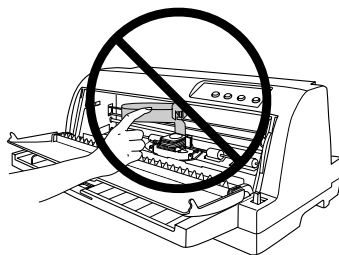
- 使用可能な用紙を使用してください。
  ☞ 本書 26 ページ 「印刷できる用紙」
- 用紙を正しくセットしてください。また、連続紙の置き方に注意してください。
  ☞ 本書 28 ページ 「連続紙の給紙と排紙」
  ☞ 本書 31 ページ 「単票紙の給紙と排紙」
- アジャストレバーを用紙の紙厚に合わせて、正しい位置にセットしてください。
  ☞ 本書 27 ページ 「アジャストレバーの設定」
- 用紙ガイドにセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。
- 許容枚数を超える用紙をセットしないでください。
- 連続ラベル紙を使用する場合は、用紙がなるべく直線になるような給紙経路にしてください。
  ☞ 本書 28 ページ 「連続紙の給紙と排紙」
- 連続紙をセットするときはスプロケットの間隔を適切にセットしてください。スプロケットの間隔が広すぎると紙の張りが強く、用紙のピン穴が破れ用紙詰まりの原因になります。スプロケットの間隔が狭すぎて用紙がたるんでいても用紙詰まりの原因となります。セットして長時間経過している連続紙は、印刷前に破れていないことを確認してください。

リボンカートリッジの交換

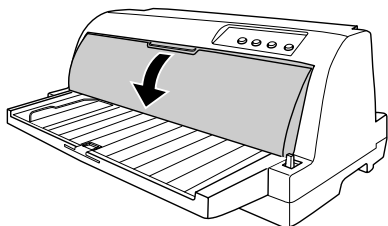
インクが薄くなって十分な印刷品質を得られなくなったときは、リボンカートリッジを交換してください。

- リボンカートリッジは純正品（型番：VPF2000RC）のご使用をお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、本体や印刷品質に悪影響が出るなど、本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性については保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。
- リボンパック（型番：VPF2000RP）は、リボンカートリッジ（型番：VPF2000RC）内部のリボンだけを交換するものです。1 つのカートリッジにつき 4 回までリボン交換ができます。
- リボンカートリッジの交換手順はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp/）でもご案内しています。画面右上の検索欄に「リボンカートリッジ　VP-F2000」と入力すると、対象の FAQ が表示されます。

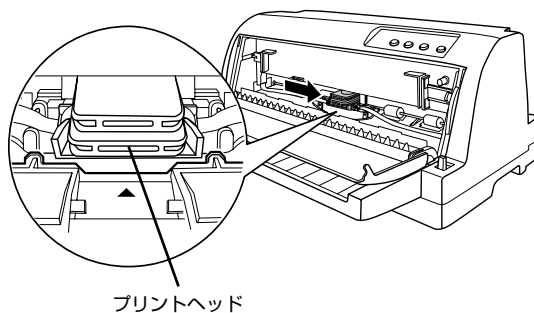
！注意

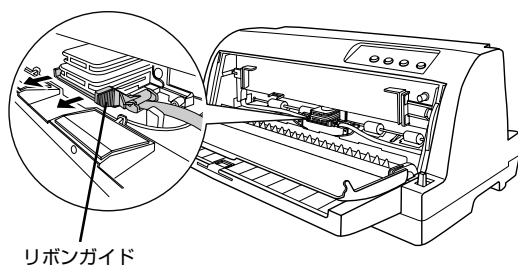
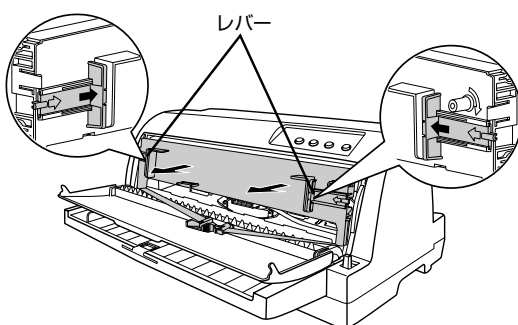
- プリンターの電源を入れた状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源を切った状態で行ってください。
- リボンカートリッジ交換時は、プリンター内部の白いケーブルに触れないでください。

1 **プリンターの電源を切ります。**

> ⚠注意
>
> プリンターを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

2 **プリンターカバー上部に指をかけ、ゆっくりと手前に倒してプリンターカバーを開けます。**

3 **プリントヘッドが中央のリボンカートリッジ交換位置（▲マークの位置）にあることを確認します。**

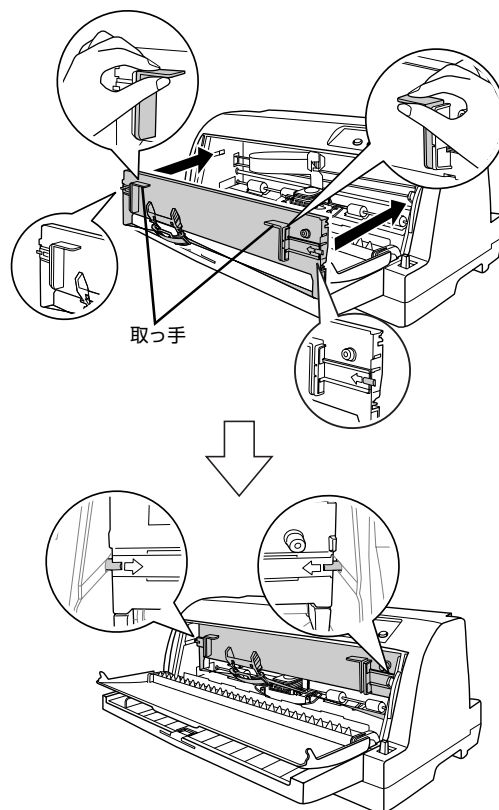
図の位置にない場合は、プリンターカバーを閉じてから電源を入れてください。プリントヘッドがリボンカートリッジ交換位置へ移動し停止したことを確認してから、電源を切ります。プリントヘッドの移動には数秒かかります。

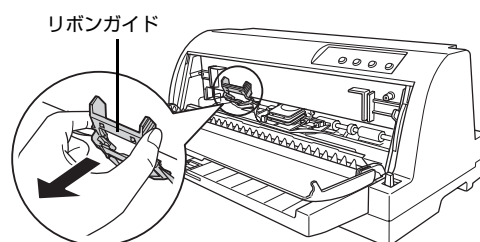
！注意

電源の切／入は、5 秒程度待ってから行ってください。切／入の間隔が短すぎるとプリンターの電源部が故障するおそれがあります。

4 リボンガイドの両端を持ち、プリントヘッドから引き抜きます。

5 リボンカートリッジの左右のレバーを押さえながら手前に取り外します。

6 新しいリボンカートリッジを袋から取り出します。

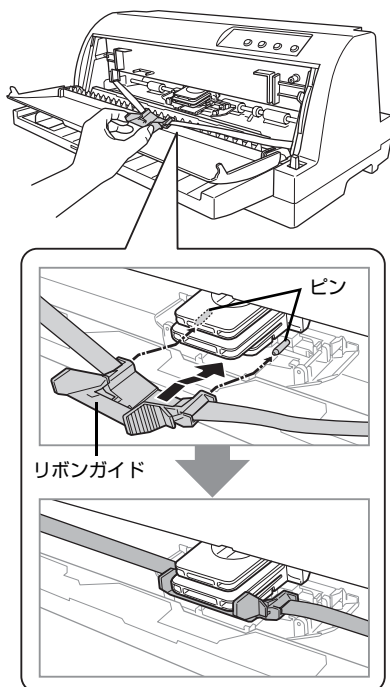
7 リボンカートリッジの左右の取っ手を持ち、プリンターに取り付けます。

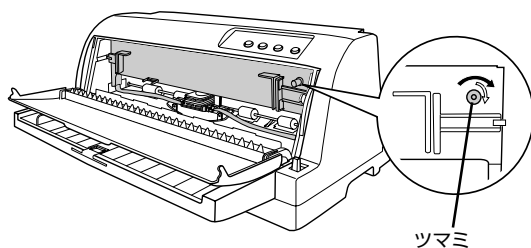
プリンター両側の溝にリボンカートリッジの突起を合わせて、固定されるまで押し込みます。

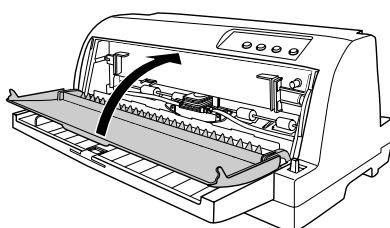
リボンカートリッジの両端を軽く押して、傾きやがたつきのないことを確認してください。

8 リボンガイドをリボンカートリッジから外します。

リボンガイドの両端を持ち、手前に引いて外します。

9 リボンガイドをプリントヘッドに取り付けます。

リボンガイドの両端を持ち、プリントヘッドのガイドのピンに合わせて止まるまで奥に押し込みます。

!注意

リボンガイドを押し込むとき、リボンがねじれないように注意してください。

10 リボンカートリッジのツマミを矢印方向に回して、リボンのたるみを取ります。

リボンのたるみを取り、リボンが自由に動くこと、リボンにねじれや折れがないことを確認してください。

11 プリンターカバーを閉じます。

参考

使用済みのリボンカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。詳細はエプソンのホームページで確認してください。
http://www.epson.jp/recycle/
使用済みリボンカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用してください。
廃棄する場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

以上で終了です。

さらに詳しい情報とサービスのご案内

ここでは、本製品に同梱のソフトウェアディスクに収録されている『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）の紹介と使い方、弊社が提供しておりますサービス・サポートの概要を説明します。

PDF マニュアルの紹介と使い方

『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）には、本書に掲載されていない以下のような情報が説明されています。

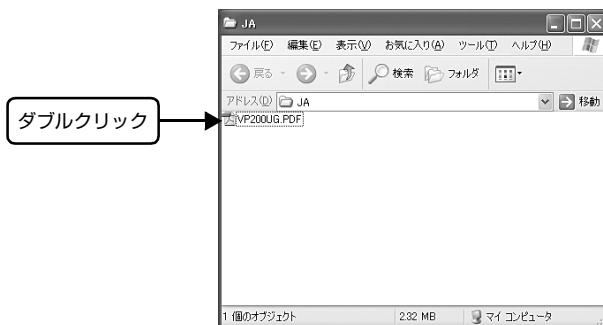
- Windows から印刷する際の設定方法
- プリンターを共有するための設定方法
- 連続紙、複写紙の詳細な用紙仕様
- オプション品や消耗品の情報（取り付け方や使い方）
- 困ったときの対処方法
- プリンター本体の仕様

PDF マニュアルを開くには Adobe® Reader® などの PDF 閲覧ソフトウェアが必要です。Adobe Reader は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードできます。また、各 OS に対応する Adobe Reader のバージョンは、アドビシステムズ社のホームページでご確認ください。

PDF マニュアルは以下の手順で開きます。

1 **本製品に同梱されているソフトウェアディスクをコンピューターにセットします。**

2 **［電子マニュアルを見る］をクリックします。**

3 **［VPF200UG.pdf］をダブルクリックして開きます。または、ドラッグアンドドロップなどの機能でお好みのフォルダーへコピーします。**

参考　PDF ファイルを開くと、画面左側に［しおり］があります。［しおり］の各タイトルをクリックすると、該当ページを直接開くことができます。また、調べたい語句を検索して、直接その掲載箇所へ移動することもできます。画面表示が小さい場合は、表示を拡大してご覧ください。また、すべてのページを印刷したり、必要なページだけを印刷したりしておくと、いつでもすぐに調べることができるので便利です。操作方法の詳細は、PDF 閲覧ソフトウェアの［ヘルプ］をご覧ください。

各種サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートの概要は以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先 / アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	☞ 本書裏表紙
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON *	エプソンの会員制情報提供サービスです。 「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設*してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます。	
ソフトウェアダウンロードサービス	プリンタードライバーなどのソフトウェアは、バージョンアップされることがあります。最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。	☞ エプソンのホームページ
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されている取扱説明書のPDFデータをダウンロードできます。取扱説明書を紛失したときなどにご活用ください。 MS-DOSでの操作方法などを説明した補足説明書のPDFデータは弊社のホームページからダウンロードしてください。	
消耗品 / オプションの購入	エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください（2013年9月現在）。	☞ 本書裏表紙
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	☞ 次項「保守サービスのご案内」

*：「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」IDとパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。
「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『ソフトウェアディスク』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず『取扱説明書　詳細編』（PDF マニュアル）の「困ったときは」をよくお読みください。

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約や、エプソンサービスパックをお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター（本書裏表紙参照）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターへお問い合わせください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th><th rowspan="2">お問い合わせ先</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先でサービスエンジニアが製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代･部品代*が無償になるため予算化ができ便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
*：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td><td rowspan="3">エプソン
サービスコール
センター</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。
• 修理のつど発生する修理代･部品代*が無償になるため予算化ができ便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。
*：消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所にサービスエンジニアが出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>有償
（出張料のみ）</td><td>出張料 ＋ 技術料＋部品代
修理完了後そのつどお支払いください</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th><th rowspan="2">お問い合わせ先</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td>持込 / 送付修理</td><td>修理故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料＋技術料＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください</td><td>エプソン
修理センター</td></tr>
<tr><td>ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金＋修理代）</td><td>ドア to ドア
サービス受付電話</td></tr>
</table>

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディーな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単　　　：エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化　　：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）
刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

著作権

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。
本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

EPSON VP-F2000 セットアップと使い方の概要編

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス㈱	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス㈱	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア㈱	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊ 修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660　・東京修理センター:042-584-8070

・鳥取修理センター:0857-77-2202　・福岡修理センター:092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、
修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）受付電話**050-3155-7150**【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00（弊社指定休日含む）および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通航空で代行いたします。

＊引取修理サービス（ドアtoドアサービス）について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/でご確認ください。

＊年末年始（12/30～1/3）の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8088　【受付時間】月～金曜日9:00～12:00 / 13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8581へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日 10:00～17:00（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリの
おすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	**http://myepson.jp/**

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料0120-545-101)でお買い求めください。（2013年4月現在）

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp/）にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス（SIDM）　2013. 04